

中小企業景況調査報告書

2024年1～3月期実績
2024年4～6月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

- (1) 調査対象時期等
 - ①調査対象時期：2024年1～3月期の実績及び2024年4～6月期見通し
 - ②調査期間：2024年2月16日～3月1日 ※調査時点は2024年3月1日
- (2) 調査方法
 - ①商工会の経営指導員等による訪問面接調査
 - ②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。
- (3) 調査対象商工会
 - ①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、大樹町、本別町、標茶町
 - ②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町
 - ③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	47	92.2%	小売業	85	80	94.1%
建設業	48	44	91.7%	サービス業	116	104	89.7%
		合計				275	
						91.7%	

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

- (5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？
前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。
例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前期比				今期	
	今期	来期見込	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	今期	来期見込
製造業	▲ 21.3	▲ 14.9	▲ 17.8	10.0	6.0	▲ 11.8	▲ 21.3	▲ 10.6
建設業	▲ 13.6	▲ 25.0	▲ 15.9	0.0	▲ 8.9	▲ 10.6	▲ 16.0	▲ 25.0
小売業	▲ 20.2	▲ 26.5	▲ 43.6	▲ 31.4	▲ 25.3	▲ 23.2	▲ 34.2	▲ 21.5
サービス業	▲ 27.9	▲ 31.8	▲ 34.6	▲ 12.7	▲ 13.6	▲ 31.5	▲ 32.7	▲ 16.3

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同相比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R5. 4-6	R5. 7-9	R5. 10-12	今期	来期見込
業況	好 転	6.4	6.4	22.0	18.0	9.8	6.4	8.5
	不 変	65.9	72.3	66.0	70.0	68.6	65.9	72.4
	悪 化	27.7	21.3	12.0	12.0	21.6	27.7	19.1
	D・I	▲ 21.3	▲ 14.9	10.0	6.0	▲ 11.8	▲ 21.3	▲ 10.6
売上(加工)額	増 加	14.9	8.5	32.0	38.0	23.5	12.8	
	不 変	48.9	57.5	46.0	34.0	43.2	40.4	
	減 少	36.2	34.0	22.0	28.0	33.3	46.8	
	D・I	▲ 21.3	▲ 25.5	10.0	10.0	▲ 9.8	▲ 34.0	
資金繰り	好 転	4.3	4.3	8.2	8.2	2.0	4.3	
	不 変	76.1	80.5	77.5	79.6	84.3	80.5	
	悪 化	19.6	15.2	14.3	12.2	13.7	15.2	
	D・I	▲ 15.3	▲ 10.9	▲ 6.1	▲ 4.0	▲ 11.7	▲ 10.9	
原材料仕入単価	上 昇	61.7	48.9					
	不 変	36.2	51.1					
	低 下	2.1	0.0					
	D・I	59.6	48.9					
採算(経常利益)	好 転	6.4	4.3					
	不 変	61.7	72.3					
	悪 化	31.9	23.4					
	D・I	▲ 25.5	▲ 19.1					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

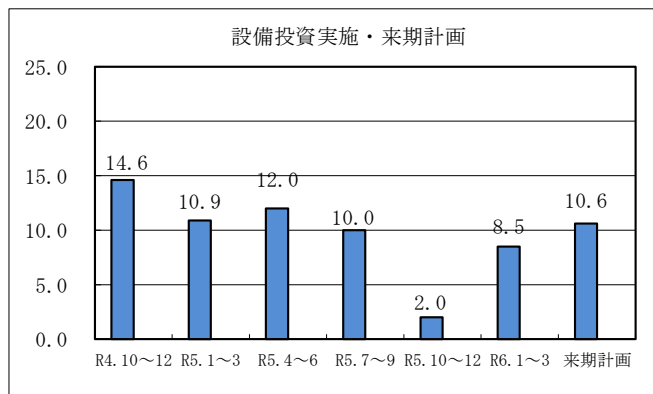
回答47事業所の内、4事業所(8.5%)が実施。

●生産設備=3事業所、●車両・運搬具=2事業所、●土地、工場建物、付帯施設、OA機器、福利厚生施設=各1事業所

【来期計画内容】

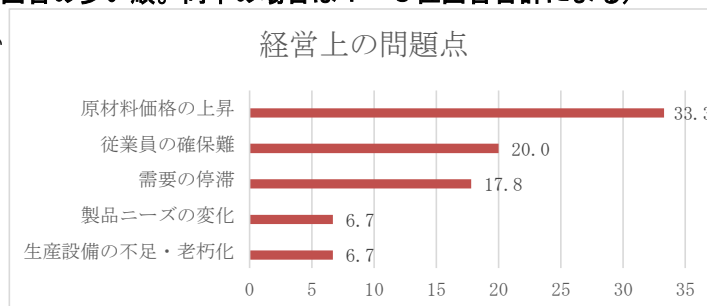
回答47事業所の内、来期に5事業所(10.6%)が計画。

●生産設備=4事業所、●車両・運搬具=2事業所●付帯施設=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様の「原材料価格の上昇」で前回より2.9ポイント減少している。2位は前回3位だった「従業員の確保難」で9.4ポイント増加している。3位は前回2位だった「需要の停滞」で5.0ポイント増加している。4位は前回同様「製品ニーズの変化」と前回番外だった「生産設備の不足・老朽化」が同ポイントで並んだ。「製品ニーズの変化」は2.4ポイント増加し「生産設備の不足・老朽化」は前回より3.9ポイント減少した。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前期比				
		今期	来期見込	R5. 4-6	R5. 7-9	R5. 10-12	今期	来期見込
業況	好転	9.1	2.3	17.0	8.9	6.4	4.5	2.3
	不変	68.2	70.4	66.0	73.3	76.6	75.0	70.4
	悪化	22.7	27.3	17.0	17.8	17.0	20.5	27.3
	D・I	▲ 13.6	▲ 25.0	0.0	▲ 8.9	▲ 10.6	▲ 16.0	▲ 25.0
完成工事 (請負工 事) 額	増加	25.0	2.3	26.1	31.1	25.5	15.9	
	不変	38.6	68.2	36.9	48.9	44.7	45.5	
	減少	36.4	29.5	37.0	20.0	29.8	38.6	
	D・I	▲ 11.4	▲ 27.2	▲ 10.9	11.1	▲ 4.3	▲ 22.7	
資金繰り	好転	4.5	0.0	11.1	4.5	6.5	9.1	
	不変	81.9	84.1	77.8	88.7	84.8	77.3	
	悪化	13.6	15.9	11.1	6.8	8.7	13.6	
	D・I	▲ 9.1	▲ 15.9	0.0	▲ 2.3	▲ 2.2	▲ 4.5	
材 料 仕入単価	上昇	62.8	48.8					
	不変	37.2	51.2					
	低下	0.0	0.0					
	D・I	62.8	48.8					
採算(経 常利益)	好転	6.8	0.0					
	不変	68.2	68.2					
	悪化	25.0	31.8					
	D・I	▲ 18.2	▲ 31.8					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

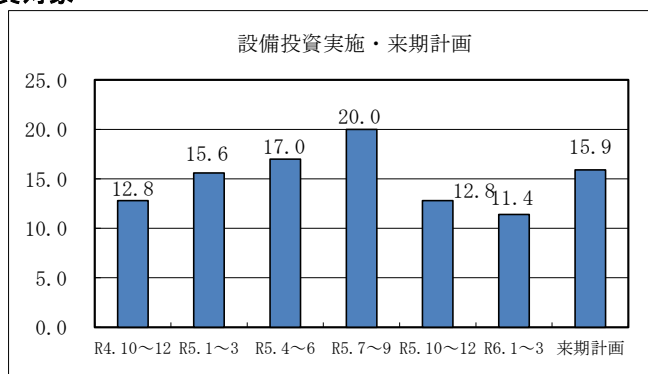
回答44事業所の内、5事業所(11.4%)が実施。

●車両・運搬具=3事業所、●OA機器=2事業所、●建設機械、その他=各1事業所

【来期計画内容】

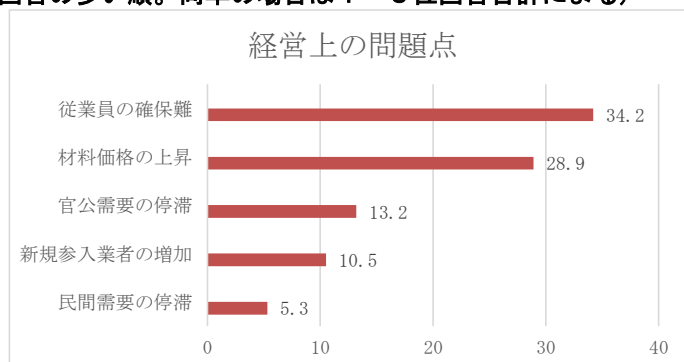
回答44事業所の内、来期は7事業所(15.9%)が計画。

●建設機械=5事業所、●土地、建物、付帯施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回2位の「従業員の確保難」で10.4ポイント増加した。2位は前回1位の「材料価格の上昇」で4.4ポイント減少した。3位は前回番外の「官公需要の停滞」で8.4ポイント増加した。4位は前回3位だった「新規参入業者の増加」で1.4ポイント減少した。5位は前回同様「民間需要の停滞」で1.8ポイント減少した。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今 期	来期見込	R5. 4-6	R5. 7-9	R5. 10-12	今 期	来期見込
業 況	好 転	11.4	8.9	7.2	9.6	8.5	7.6	7.6
	不 変	57.0	55.7	54.2	55.5	59.8	50.6	63.3
	悪 化	31.6	35.4	38.6	34.9	31.7	41.8	29.1
	D・I	▲ 20.2	▲ 26.5	▲ 31.4	▲ 25.3	▲ 23.2	▲ 34.2	▲ 21.5
売 上 額	増 加	20.0	15.0	21.7	16.9	26.8	8.8	
	不 変	52.5	46.2	44.6	53.0	41.5	44.9	
	減 少	27.5	38.8	33.7	30.1	31.7	46.3	
	D・I	▲ 7.5	▲ 23.8	▲ 12.0	▲ 13.2	▲ 4.9	▲ 37.5	
資 金 繰 り	好 転	5.1	2.6	2.4	4.9	2.5	3.8	
	不 変	68.0	66.6	70.8	73.1	74.7	69.3	
	悪 化	26.9	30.8	26.8	22.0	22.8	26.9	
	D・I	▲ 21.8	▲ 28.2	▲ 24.4	▲ 17.1	▲ 20.3	▲ 23.1	
商 品 仕 入 単 価	上 昇	57.5	43.8					
	不 変	36.2	48.7					
	低 下	6.3	7.5					
	D・I	51.2	36.3					
採 算 (経 常 利 益)	好 転	10.1	10.1					
	不 変	54.5	53.2					
	悪 化	35.4	36.7					
	D・I	▲ 25.3	▲ 26.6					

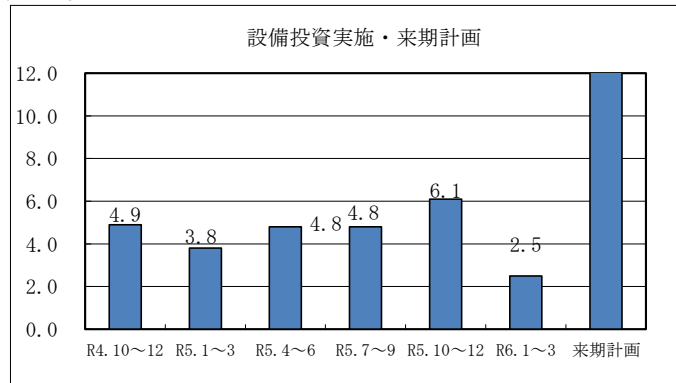
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答80事業所の内2事業所(2.5%)が実施。
●販売設備、OA機器=各1事業所

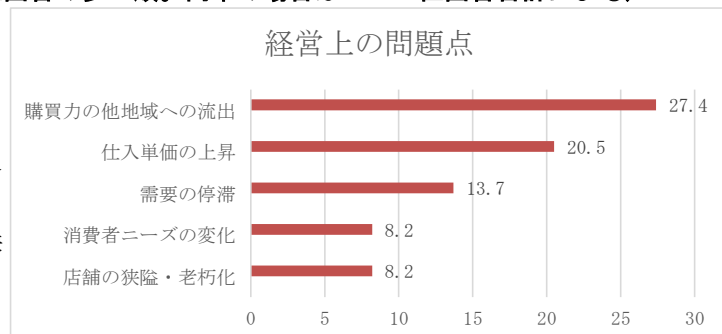
【来期計画内容】

回答80事業所の内、来期は10事業所(12.5%)が計画。
●販売設備=6事業所、●付帯施設=2事業所、●車両・運搬具、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回2位だった「購買力の他地域への流出」で8.5ポイント増加した。2位は前回1位だった「仕入単価の上昇」で6.5ポイント減少した。3位は前回同様「需要の停滞」で0.2ポイント増加した。4位は前回同様「消費者ニーズの変化」と前回番外だった「店舗の狭隘・老朽化」が同ポイントで並んだ。「消費者ニーズの変化」は1.3ポイント減少し「店舗の狭隘・老朽化」は1.4ポイントの増加となった。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R5. 4-6	R5. 7-9	R5. 10-12	今期	来期見込
業況	好 転	4.8	3.8	11.8	9.1	0.9	3.8	12.5
	不 変	62.5	60.6	63.7	68.2	66.7	59.7	58.7
	悪 化	32.7	35.6	24.5	22.7	32.4	36.5	28.8
	D・I	▲ 27.9	▲ 31.8	▲ 12.7	▲ 13.6	▲ 31.5	▲ 32.7	▲ 16.3
売上(収入)額	増 加	18.3	10.6	30.6	33.6	12.6	8.7	
	不 変	50.0	54.8	41.5	41.9	50.5	51.9	
	減 少	31.7	34.6	27.9	24.5	36.9	39.4	
	D・I	▲ 13.4	▲ 24.0	2.7	9.1	▲ 24.3	▲ 30.7	
資金繰り	好 転	2.9	2.9	5.5	6.5	1.8	1.0	
	不 変	71.6	69.6	72.5	74.1	76.2	71.5	
	悪 化	25.5	27.5	22.0	19.4	22.0	27.5	
	D・I	▲ 22.6	▲ 24.6	▲ 16.5	▲ 12.9	▲ 20.2	▲ 26.5	
仕入単価(材料等)	上 昇	59.8	41.2					
	不 変	37.3	56.8					
	低 下	2.9	2.0					
	D・I	56.9	39.2					
採算(経常利益)	好 転	4.8	3.8					
	不 変	59.6	60.6					
	悪 化	35.6	35.6					
	D・I	▲ 30.8	▲ 31.8					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

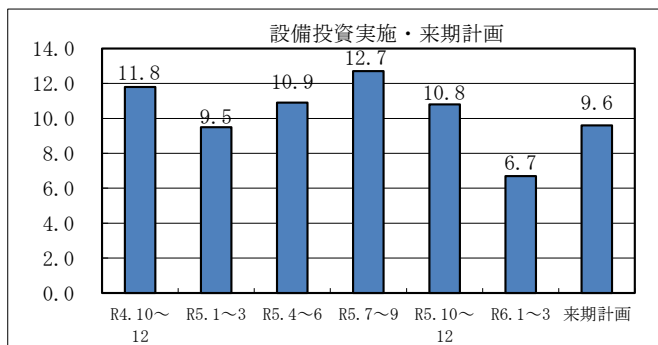
回答104事業所の内、7事業所(6.7%)が実施。

●付帯施設=3事業所、●車両・運搬具=2事業所、●土地、建物、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

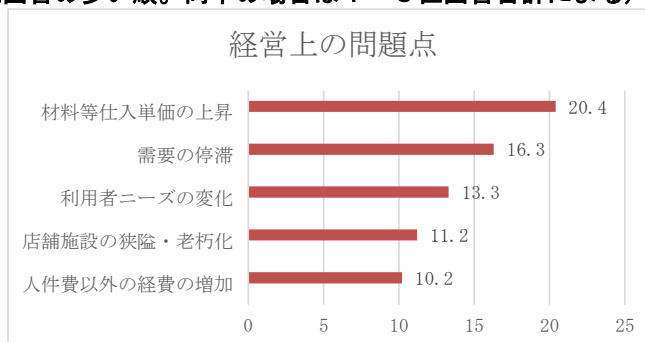
回答104事業所の内、10事業所(9.6%)が計画。

●車両・運搬具、付帯施設=各3事業所、●建物、その他=各2事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「材料等仕入単価の上昇」で5.4ポイント減少した。2位は前回同様「需要の停滞」で2.3ポイント減少した。3位は前回4位だった「利用者ニーズの変化」で4.0ポイント増加した。4位は前回5位だった「店舗施設の狭隘・老朽化」で1.9ポイント増加した。5位は前回3位だった「人件費以外の経費の増加」で5.3ポイント減少した。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

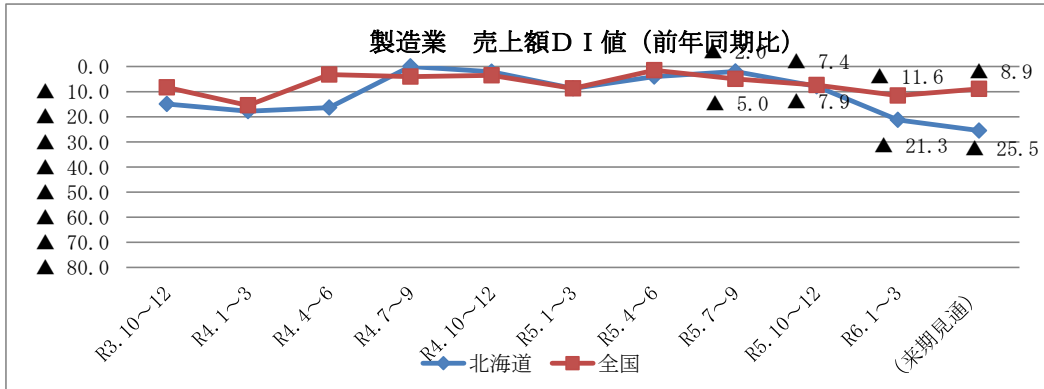
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

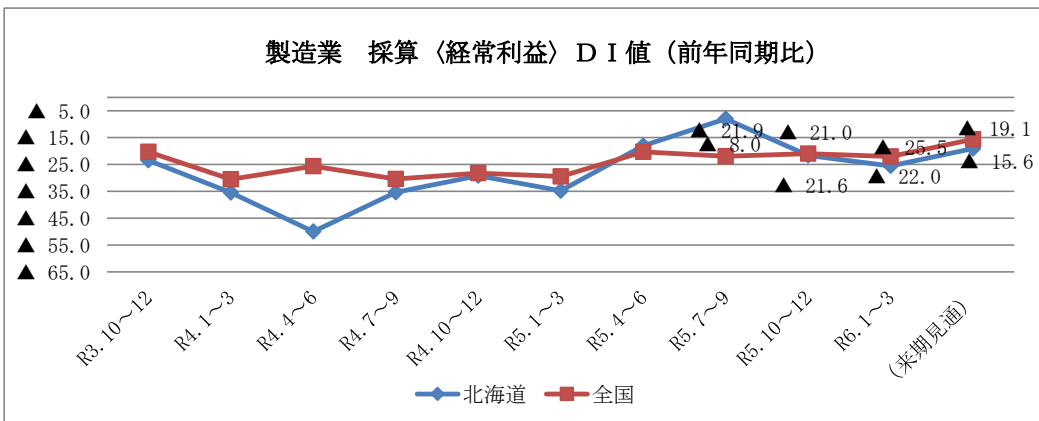
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

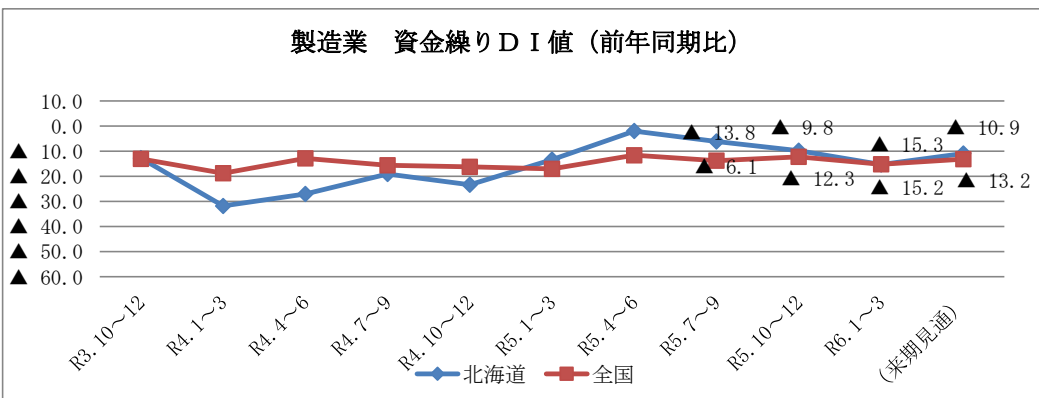
売上額



採算



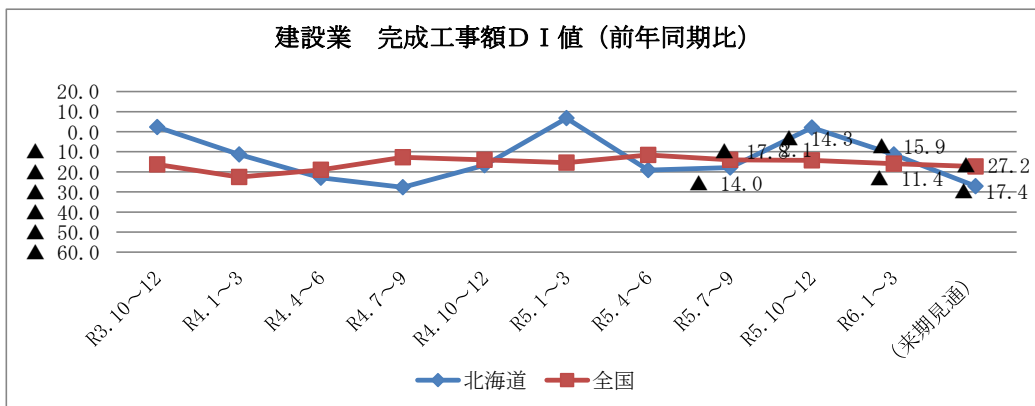
資金繰り



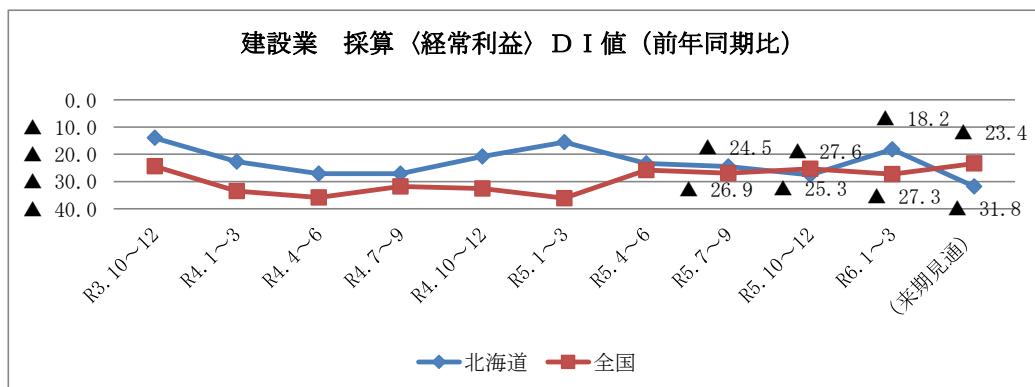
建設業

【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

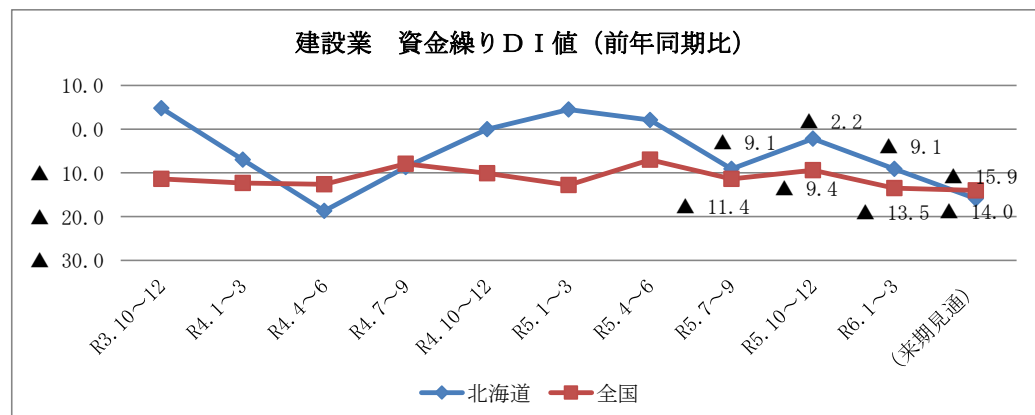
完成工事額



採算



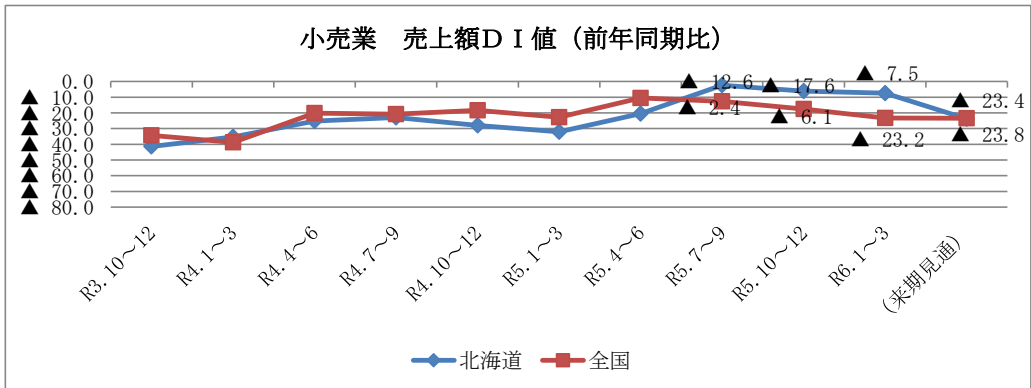
資金繰り



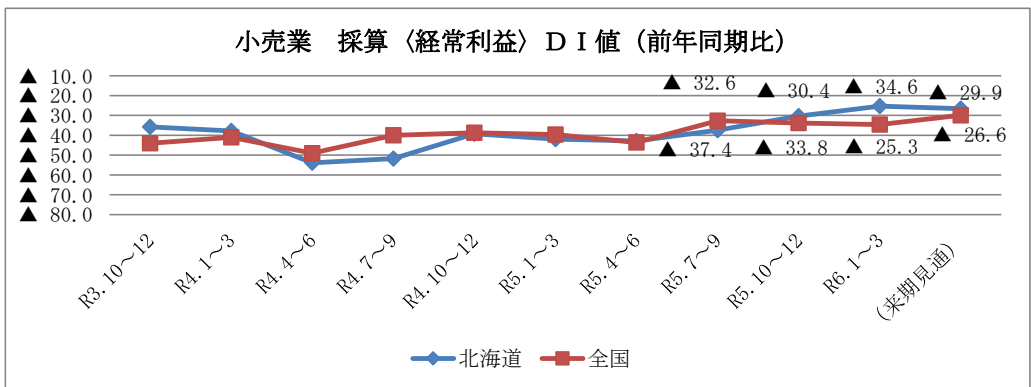
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

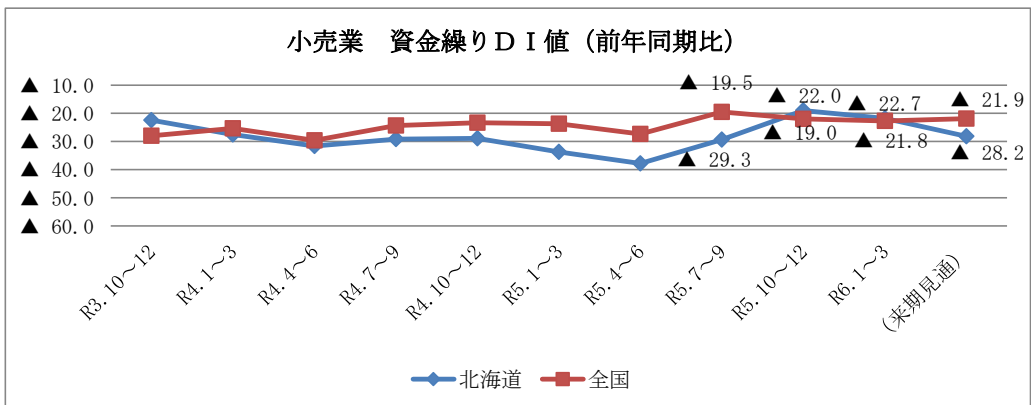
売上額



採算



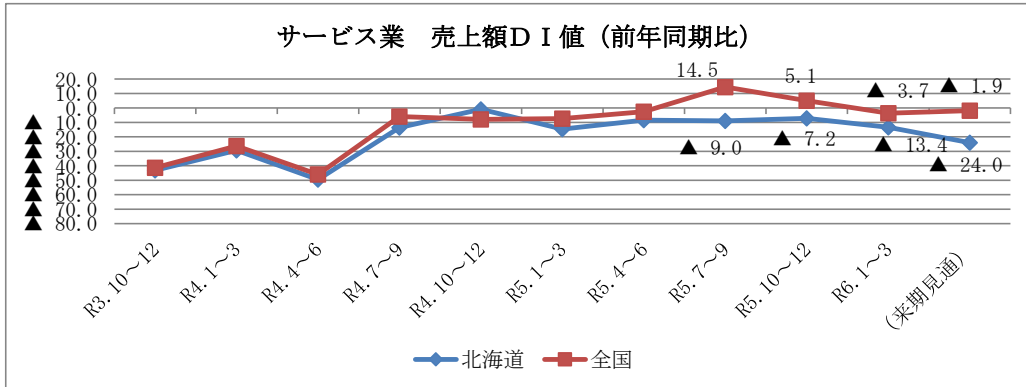
資金繰り



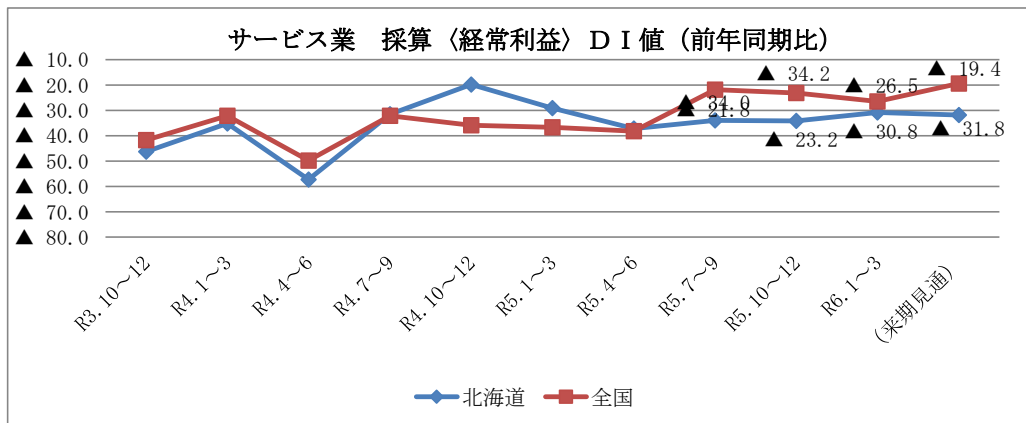
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

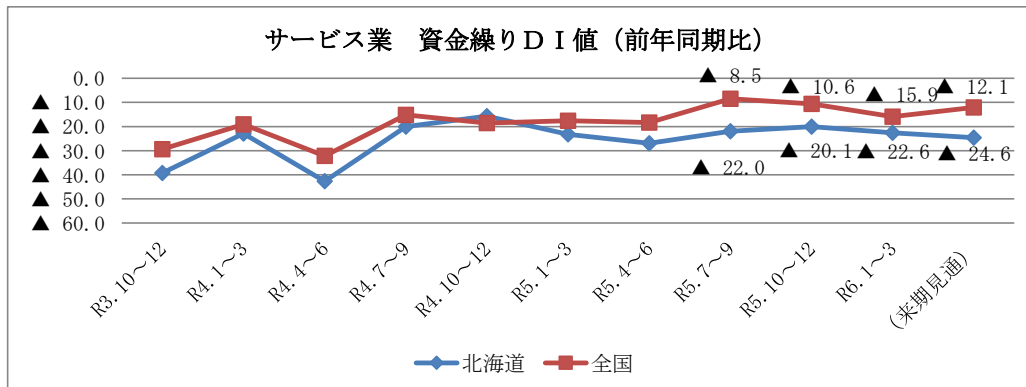
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>○職人が退職し一人での作業となったがよらず支援にアドバイスを頂き価格改定をした。改定前に仕事が多く入ったが1人での仕上量に限界があり売上が下がった。4月から入社する長男に技術を継承して売上アップをめざす。</p> <p>○バターの仕入量が未だ制限されている。そのため製造量を増やせない。4月までには必要量を確保しておきたい。</p> <p>○前期はTV放送による需要が大きかったが、今期はTV放送需要は収まってはいるが、新規のお取引のお問合せが多く、事実上、会社としての長期需要はUPしていると感じる。</p> <p>○ここ数年の受注数増加に伴い、数か月前から積極的に人材獲得に力を入れてきました。今までの求人方法ではなくSNSを駆使し、募集をかけたところ今期より1名の採用が決まりました。</p> <p>○ホームページを利用してネット販売に力を入れてきましたが、ここへきて運賃の高騰がネックになり今後ますます、売上減少に繋がるのではないかと心配しています。</p> <p>○原料等の上昇により利益が減少し、価格転嫁が対応できていない。その他の経費の上昇し悪化している。対応するには時間と資金が必要となるがバランスよくは行っていない。</p> <p>○度重なる原材料等の高騰で、年次契約の見積金額の設定が難しい。設備の老朽化への対策も考えなければならない。</p> <p>○原材料高騰は続いているが価格転嫁が追いついたため業況は好転。繁忙期の在庫をこの閑散期に一気に作るため、一時的に赤字になるが新規の取引先も増えているので4～5月からは黒字計上の見込み。</p> <p>○食品の値上げに伴い、嗜好品である菓子を避けている印象が有る。しかしコロナの扱いの変化によってイベントに対する注文が戻ってきている印象が有る。今後の業状に期待したい。</p> <p>○町外から来店客の増加が課題。告知が弱いこと、駐車場が狭いこと、店内の販売スペースが狭い。告知強化のため、集客している所に来客のための特典チラシを置いてもらう、買い上げ時にリピート来店特典チラシを渡す。</p> <p>○ゾンビ企業が増加している。</p> <p>○従業員の退職により、従業員の確保が厳しくなっている。</p>
建設業	<p>○今期、来期の業況の要因として民間需要の低下が挙げられます。一部の観光及び宿泊等の業況はかいぜんされども、設備投資までの勢いはなく他業界も同様です。仕事がなければ職人もいなくなるため、悪循環に陥ります。</p> <p>○政治の不安定、海外の紛争など経済の不安定が予想され、会社経営の見通しがつかない。</p> <p>○工事の入札が減っており、売上の確保、利益の確保が難しい状況になっている。</p> <p>○決して今年度が良いわけではなく、コロナ禍であった昨年1～3月が悪すぎた印象。中小企業においては好景気は感じらず、2024年度からの建設業問題や運送業問題によって、更に首を絞められる状況になる。</p> <p>○人手不足は予測よりさらに厳しい状況になっており、仕事を受注しても、人手不足のため見送らなければいけない状況になった。2024年問題を抱えて、さらにその問題が悪化すると思われる。</p>

<p style="text-align: center;">小 売 業</p>	<p>○インバウンドの回復、円安、人材の奪い合い、時給の上昇などニセコ地域が異常になっている。</p> <p>○コロナ禍が終息し、インバウンドを含めた旅行者が昨年以上に増えている。ニセコエリアのみならず、札幌をはじめとした道内各地の飲食店との新規取引も増加しており、仕事の成果が業績にも出たと感じている。</p> <p>○仕入単価は上がっているが、客単価は変わらない。</p> <p>○降雪不足による除排雪など季節需要の低下により弁当などの販売数が減少した。</p> <p>○粗利の要となる仕出しの注文が増加し始めているものの高騰する電気代や人件費等を価格に転嫁しづらい状況にある。LED勝目の導入や冷蔵機器の入れ替えでコストの削減に成果が出なければ事業継続は難しい。</p> <p>○人口減少</p> <p>○商品単価の上昇のため在庫が置けなくなっている。</p> <p>○この時期は天候の影響もあり来店されるお客様が減少します。来店者以外の営業活動がいかにも効率よくできるかが焦点となり二年前から比較してもユーザー層が著しく変化し取引先業者も九割新規になり激動の一年でした。</p> <p>○今年に入っての能登半島地震の影響もあってかお正月からの人出が少なくなった感じが見られ全体的に自粛ムードでお土産などの需要が減ったように思います。来期は復興とともに売上が上がることを期待しております。</p> <p>○より我慢してるということを実感している。</p> <p>○仕入単価上昇に伴い販売価格を上げざるを得なく一見、売り上げが増加しているようにみえるが、実際は光熱費等の経費も増加しているため、利益が少ない。</p> <p>○コロナ期間で販売店舗を拡充させた豚まんの業績を年明けの百貨店催事のTV出演で売上が大きく上昇した。人流があると売れる商品をラインナップしていることから夏場に向けた商品の見直しを実施していきたい。</p>
<p style="text-align: center;">サ ー ビ ス 業</p>	<p>○光熱費などの負担が大きい。料金を値上げしたいが、なかなか上げづらい。</p> <p>○お客は安いから来るけど、物価がどんどん高くなって値上げをしても追いつかない。売り上げは上がっても利益が無い。</p> <p>○ありがたいことに暇だと思ふことなく常に仕事が入ってきています。気を抜かず1つ1つ丁寧なやっつけたいと思います。</p> <p>○冬季の宿泊稼働率は徐々にコロナ禍前に戻ってきているが、夏季の宿泊動向が気になる。</p> <p>○美容師が不足している分、客からの要求に応えられないことが毎日続いています、求人等を出す事にもなりません。</p> <p>○建物や車両等が古くなり買替が必要な時期となっている。お客様はコロナ前に戻つつあるが、ニセコ周辺に建物が増えニセコらしさを失いつつある。お客様のニーズも変わりニセコの観光の魅力を考えなければならない。</p> <p>○高齢化とともにパーマとカラーの需要に変化を感じるため、以前より客単価が下がっていると思う。</p> <p>○インボイス制度が始まりITの単価を上げたが、利用客が減少したように感じる。また新聞も値上げによる購読者の減少もあるが、客単価は上昇している。客数減少の対策が必要かもしれない。</p> <p>○検査仕様が変化することによりOA機器が必要となり、その機器の活用方法を習得することが必須となる。近年では技術者の確保もさることながら、高齢化する従業員の電子化及び技術向上に限界を感じる状況である。</p> <p>○物価高の影響により利益減少が続く、またコロナ前の状態に戻らない。</p> <p>○材料仕入単価上昇に人件費増加に比べて単価が上げにくい！！</p> <p>○売上はまずまず安定しているが、高齢のドライバーがいる為社員の補充の時期に苦慮している。</p> <p>○北海道十勝での冬期の観光需要低下は仕方ないがこのままでは厳しいので様々な対策、対応をしていかなければならないと思っている。</p> <p>○仕入単価が上昇しており、利益を圧迫している。店舗施設の老朽化や設備の経年劣化により光熱費や燃料費がかさんでいる。これら諸経費の増加により業績は芳しくない判断している。</p> <p>○2月は当店にとって繁忙期だが、思ったより売り上げることができなかつた。他店の集客が強いと思うが物販などで販売力を広げていきたい。</p> <p>○物価高と公共事業も有りませんので今のところ先の見通しがつきません。</p> <p>○コロナの売上の停滞が戻りきらない内に、漁業・農業の経営の悪化が追い打ちをかけている。ゴールデンウィーク以降に回復の期待をかけているところです。</p> <p>○自身も客も高齢者に成りつつも、若い客層の増客はなかなか取り込めないのが現状？ほぼ現状維持で・・・</p> <p>○年末の売上が予定より上がったが利益があがらず良い状況にはならない。原価の見直しは少しずつ行っているがなかなかきびしい。</p>